



2026年1月28日

各 位

会社名 株式会社 オキサイド
代表者名 代表取締役社長(COO 兼 CFO) 山本正幸
(コード番号: 6521 東証グロース)
問合せ先 執行役員(CSO)企画本部長 竹内健吾
(TEL. 0551-26-0022)

連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2026年1月28日付取締役会決議により、当社の連結子会社であるRaicol Crystals Ltd.（本社：イスラエル、以下「Raicol社」）について、当社の保有するRaicol社全株式及び貸付債権を譲渡することを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。株式譲渡完了後、Raicol社は当社の連結子会社から除外されることとなります。

記

1. 株式譲渡の理由

当社は2023年3月、Raicol社が保有する非線形光学結晶・電気光学デバイス技術、欧州を中心とした販売網と、当社の量産化技術・単結晶育成技術等を組み合わせることで、製品ポートフォリオ及び販売チャネルの拡充を図り、長期的な事業成長につなげることを目的として、同社を連結子会社化いたしました。

しかしながら、連結子会社化直後の2023年10月にイスラエル紛争が発生し、従業員の予備役招集、長紛争期化に伴う一部地域においてイスラエル製品の不買運動が広がるなど、Raicol社を取り巻く事業環境は急速に変化しました。こうした外部環境の変動は当初想定していた事業計画に大きな影響を及ぼし、当社は2025年1月14日付でのれんの減損を決定しております。

ご参照：

2023年1月13日付開示「Raicol Crystals Ltd. 社（イスラエル）の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6521/tdnet/2222246/00.pdf>

2023年3月1日付開示「Raicol Crystals Ltd. 社（イスラエル）の株式譲渡完了のお知らせ」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6521/tdnet/2245840/00.pdf>

2025年1月14日付開示「営業外費用（為替差損）及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6521/tdnet/2547847/00.pdf>

[Raicol社実績の推移] (単位：百万円)

	売上高	営業損益	注記
2022年	1,913	97	
2023年	2,294	97	2023年3月 Raicol社連結子会社化 2023年10月 イスラエル紛争発生
2024年	1,842	18	
2025年 (見込み)	1,560	▲450	

注)本資料における円換算額は、便宜上、2025年11月時点での当社為替レート (1新シェケル=48円) を用いて算出しております。そのため、各期の連結財務諸表に計上された数値 (期中平均為替レートによる換算額) とは異なります。

Raicol社の業績は、2022年から買収を実施した2023年にかけて堅調に推移しておりましたが、紛争発生後の外部環境の変化により急速に悪化しました。これに対して、当社は人員削減、固定費削減、コスト構造の見直しなどの効率化施策を実行し、業績の回復に向けた取り組みを行いました。

しかし、こうした内部的な対策を上回る規模で外部環境の悪化が続いております。Raicol社製品の主要市場である宇宙・防衛用途において世界的な需要は拡大しておりますが、トルコでは国家レベルでのイスラエル製品不買運動が継続しているほか、欧州においても一部企業で同様の動きが見られ、宇宙・防衛用途に限らず幅広い用途で受注が減少しております。この状況は、当社及びRaicol社による自助努力では改善が難しく、事業活動に直接的な影響を与えています。

その結果、Raicol社単体の当期業績見通しは売上高約15.6億円、営業損失約4.5億円と厳しい状況となる見込みです。現状、イスラエル政府とハマスとの間での紛争は停戦しているものの、紛争の影響による不買運動の継続やインフレなどの外部環境は依然として改善の兆しが見られず、事業環境の回復は現時点では見通せない状況にあります。

以上の外部要因が業績及び事業計画に及ぼす影響を総合的に踏まえ、Raicol社の業績を以前の水準に回復させること、ならびに買収当初に想定した事業計画を達成することは困難であると判断いたしました。こうした状況から、当社は早期に株式譲渡の方針を確定し、外部環境の影響を最小限に抑えることが企業価値の向上に寄与すると判断しました。

株式譲渡に関しては複数候補と協議を重ねた結果、Raicol社の現CEOであるAner Yarden氏を中心とする現経営陣によるManagement Buy-Out (MBO) に応じることが、当社にとって最も経済合理性の高い選択肢であると判断しました。MBOのストラクチャーは、当該経営陣が主要構成員として組成する投資事業有限責任組合 (Israel Special Material Platform LP) へ株式を譲渡する形式です。

なお、当社とRaicol社は、次世代半導体分野等における重要結晶の独占供給体制や、結晶育成炉の提供及びその他の協業関係について、株式譲渡後も継続いたします。

当社は、主力事業である半導体・ヘルスケアに加え、今後の成長領域と位置付ける量子・データセンター・パワー半導体分野へ経営資源を重点的に投入してまいります。

2. 異動する子会社（Raicol社）の概要

(1) 名称	Raicol Crystals Ltd. (ライコル・クリスタルズ・リミテッド)			
(2) 所在地	Hamelacha 22, Rosh Ha' Ayin, Israel			
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Aner Yarden			
(4) 事業内容	非線形光学結晶及び電気光学デバイスの研究、開発、製造、販売			
(5) 資本金	134,350 新シェケル (6,448,800円)			
(6) 設立年月日	1995年3月23日			
(7) 大株主及び持分比率	株式会社オキサイド 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の連結子会社であります。		
	人的関係	当社役員2名が当該会社の取締役となっております。		
	取引関係	資金貸付に関する取引、固定資産の購入に関する取引を行っております。		
(9) 当該会社の最近3年間の財政状態及び経営成績				
	決算期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
純 資 産		20,363千新シェケル (977,424千円)	17,626千新シェケル (846,048千円)	22,947千新シェケル (1,101,456千円)
総 資 産		90,235千新シェケル (4,331,280千円)	99,821千新シェケル (4,791,408千円)	99,795千新シェケル (4,790,160千円)
1株当たり純資産		1.52新シェケル (73.0円)	1.31新シェケル (62.9円)	1.71新シェケル (82.1円)
売 上 高		39,860千新シェケル (1,913,280千円)	47,792千新シェケル (2,294,016千円)	38,390千新シェケル (1,842,720千円)
営 業 利 益		2,038千新シェケル (97,824千円)	2,028千新シェケル (97,344千円)	385千新シェケル (18,480千円)
当 期 純 損 益		▲781千新シェケル (▲37,488千円)	▲2,737千新シェケル (▲131,376千円)	5,321千新シェケル (255,408千円)
1株当たり 当 期 純 損 益		▲0.06新シェケル (▲2.9円)	▲0.20新シェケル (▲9.6円)	0.40新シェケル (19.2円)
1株当たり配当		0	0	0

注)本資料における円換算額は、便宜上、2025年11月時点での当社為替レート(1新シェケル=48円)を用いて算出しております。そのため、各期の連結財務諸表に計上された数値(期中平均為替レートによる換算額)とは異なります

3. 株式及び貸付債権譲渡の相手先の概要

(1) 氏名	Israel Special Material Platform LP	
(2) 住所	12 Y.L. Baruch St, Herzliya, Israel ,4633012	
(3) 設立根拠等	イスラエルのPartnership ordinance (new version) 5735-1975に基づくリミテッドパートナーシップ	
(4) 事業内容	Raicol社株式取得	
(5) 出資総額	1,000,000,000円	
(6) 設立年月日	2025年12月29日	
(7) 業務執行組合員の概要（所在地、事業内容、資本金）	名称	A.0 Deeptech Ltd.
	所在地	22 Hamalacha St. Rosh Ha' ayin 4809162, Israel
	代表者の役職・氏名	Raicol社CEO Aner Yarden 氏
	事業内容	Israel Special Material Platform LPにおける業務執行組合員（General Partner : GP）として設立された有限責任会社
	資本金	21,000千新シェケル (1,008,000千円)
(8) 出資者及び出資比率	Aner Yarden氏 66.5%, Ori Levin氏 26%, Bezalel Gleiser氏 7.5%	
(9) 上場会社と当該組合の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	当該会社のGeneral PartnerであるA.0 Deeptech Ltd.の代表は、Raicol社のCEOであるAner Yarden 氏です。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 譲渡株式数、貸付債権額、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	普通株 2,300,288株、優先株 11,134,709株 (議決権の数:13,434,997個、所有割合:100%)
(2) 譲渡株式数及び貸付債権額	普通株 2,300,288株、優先株 11,134,709株 (議決権の数:13,434,997個、所有割合:100%) 貸付債権額 2,135,617,675円
(3) 譲渡価額	1,000,000,000円
(4) 異動後の所有株式数	-株(議決権所有割合:-%)

5. 日程

(1) 取締役会	2026年1月28日
(2) 契約締結日	2026年1月28日(予定)
(3) 株式譲渡実行日	2026年2月15日(予定)

6. 今後の見通し

本株式及び貸付債権の譲渡に伴い、今期(2026年2月期)に約1,700百万円の一時的な特別損失が発生する見込みです。なお、当該損失は会計上の評価によるものであり、キャッシュフローへの影響はありません。

以上